



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 9 月 24 日(水)
いきいきサロン・梅内さつき会 編

さわやかな秋晴れ。絶好のお出かけ日和。さつき会の安井キエさんから誘いをいただいて、梅内へ行ってきました。薄暗い研究所でパソコン画面と向かい合うのに慣れている眼には、青空と実りを迎えた稲穂の金色が眩しすぎて痛いほどです。

常盤を過ぎ、米代川の堤防上を行く道は、中央線もガードレールもないので真っ暗な夜や吹雪の日にはちょっと怖いですが、当地の自然の豊かさが感じられ、晴れた日ならどの季節でもお勧めです。上り坂の途中、農協倉庫の前は、蛇行する米代川と広がる水田、遠くには能代の市街地や日本海が望めるビューポイント。そこから林を抜けていくと、地域の方々が協働で沿道に植栽しておられる梅内へと至ります(平成 20 年 6 月 21 日の活動レポート参照)。

今年度から、さつき会では「いきいきサロン梅内さつき会」を始めておられます。これは能代市社会福祉協議会の介護保険事業の収益金の一部を活用し、公民館や集会所など地域の歩いていける場所を拠点に、高齢者や子育て中の親子、障がい者が孤立せずに安心して暮らせる居場所・仲間づくりを目的に進められている事業で、現在、市内には 27 箇所のサロンがあるそうです。さつき会では梅内部落会館を集いの場として、お年寄りが元気になれるよう「大いに笑う」をモットーにしておられるそうです。

この日は政権交代による生活や次世代への影響、近隣の温泉評価や他団体の活動、裏庭の猿や熊の被害などなど話題は多岐に渡りましたが、難しい話題も最後は大きな笑いに包まれていました。植栽のような美化活動をはじめ、地域の色々な問題もこうやって皆さん助け合い、話し合いながらやってこられたのだと思うと、「色々考えてもなるようにしかならない」という人生の先達の言葉は胸に響きました。さつき会の方々は、長い年月、ご自分たちがができることに応じた活動を積極的に続けておられます。そうした姿勢は、後に行く私たちが見習うべきところではないかと改めて感じました。

文： 渡辺 千明



県道 64 号から左に折れて梅内へ向かう坂は絶好のビューポイント。黄金色の水田と米代川が眼下に広がり、遠くに日本海が望めます。



沿道にはコスモスやベゴニア、マリーゴールドなどが色鮮やかに咲き誇っていました。地域の方々の協働の賜物ですね。



この日は 11 人の方々が集まっておられました。



お茶とお菓子を囲んで、話題は政局から温泉、健康問題までと多彩です。どの話題も盛り上がり、とても楽しそうでした。